

フランスの公会計改革とシステム近代化の取組み

キヤノングローバル戦略研究所

主任研究員 柏木恵

1. はじめに

フランスは、2001年の予算組織法（LOLF）の改正にともない公会計改革を行っている。わが国でも個別に公会計改革を行っているが、フランスは会計制度改革、予算改革と行政評価改革の3つの柱をひとつの改革にとらえ、相乗効果を求めて同時に進めている。

また、公会計改革を実現するには、ITシステムが不可欠であるが、フランスでは Accord LOLF と Chorus という2つのシステムが軸になっている。現在、Accord LOLF をベースにしたシステムを利用しているが、最終的には Chorus を公会計改革の要として用いるべく、2011年までに全面的に導入する予定である。大規模システムの構築はわが国だけでなく、諸外国でも遅延が大きな問題となっているため、フランスがこの大規模システムを遅延なく稼働できれば、多くの国が手本とするであろう。今回は2008年度までの動向を整理した。

2. 2001年予算組織法による公会計改革の概要

予算組織法 LOLF（la loi organique relative aux lois de finances）は2001年8月1日に制定され、国の予算と会計の基準が抜本的に改正された。

LOLFによる公会計改革（以下LOLF改革）は、マーストリヒト条約による財政改革の強制力と地方分権の促進、国を圧迫し続けてきた公務員人件費の削減、国内議会の統制強化が期待された財政改革である。

2002年から2005年までの4年の準備期間を経て、2006年度予算法（同年1月1日開始）から施行された。目玉は、①会計制度に発生主義を導入（予算は従来の現金主義）、②予算編成単位（ミッション－プログラム－アクション）の変更、③それにとまなう業績評価の導入とこれら業績評価と会計報告を予算編成（事前・事後）に反映することである。

3. 公会計システム近代化の概要と変遷

LOLF改革の実現には、ITを近代化しなくてはならない。フランスは支出・税以外の収入・国の会計を管理する全省庁間の情報システム Chorus を構築中である。以前は、予算編成、収入・支払、財務会計などシステムは個別に存在していた。しかし、LOLFにそった透明性の高い、効率的な公会計を可能にするために、予算システムを除くシステムを統合化することとした。当初は2008年に稼働し、2009年末までには、このアプリケーションが全ての中央行政機関と地方機関で展開される予定になっていたが、2011年稼働予定に延びている。

Chorus前(パリエLOLF)

予算編成システム	歳出システム	歳入システム	歳計外収入	資産管理	会計システム	共通基盤システム		
Farandole	Accord LOLF		REP	STGPE	NDC	CGL	TCC	INDIA LOLF (restitutions)
	NDL							
	AMG AMF(各省庁の管理システム)							

Chorus後(avec Chorus)

予算編成システム	歳出システム	歳入システム	歳計外収入	資産管理	会計システム	共通基盤システム
Farandole	Chorus					
	AMG AMF					

<Chorus 導入に対する I Tシステムの変更図>

出所：AIFE 資料

<http://www.lemagit.fr/article/france-sopra-chorus-etat-comptabilite-bearingpoint/2429/2/chorus-premiers-couacs-pour-projet-eacute-cennie-les-prestataires-font-bloc>

4. Chorus バージョン 1 の稼働状況とその評価

Chorus バージョン 1 は 2008 年 6 月 30 日に、財務省、国防省、研究・高等教育省で稼働を開始した。稼働当初は不具合が発生したが、8 月初めにはほぼ全ての問題が解決された。サービスデスクは使用可能となり、電子マニュアルなども配付された。

財務省、研究・高等教育省、国防省の評価は、業務の流れが変わったので戸惑いがあったが、サポート体制も整っていたので、システムシフトは比較的スムーズだった。セキュリティが強化されたので、安全になった分、手間がかかるようになったという意見で、概ね良いスタートが切れたといえる¹。

5. さいごに

2009 年 1 月 2 日からバージョン 2 も稼働し、400 人が利用している。LOLF 法も改正され、2011 年の完全稼働にむけて、今後もフランスの LOLF に関する制度の実行と IT システムの近代化をどのように進めていくか、観察を続ける必要があると考える。

¹ 「Lettre de l'AIFE du mois d'août 2008」 AIFE ホームページ
http://www.budget.gouv.fr/directions_services/aife/lettres/lettre_aife0808.pdf